

● 全国の水難救済会、救難所・支所のみなさん、新年明けましておめでとうございます。良い年を迎えられましたでしょうか。また、一年間、海難救助ボランティア活動に頑張りました。また、すいきゅうニュースを今年もどうぞよろしくお願ひします。

● 最近の海難出動件数は、減少傾向にあります。事故が減少することは海の安全・安心が向上しているということで大変喜ばしいことです。

一方、皆さんの活躍の機会が減るということでもあり、複雑な気持ちになりますが、水難事故はいつ起こるか分かりません。起こった時は救助活動にベストを尽くし、遭難した人々を一人でも多く救助するために、今年も各種訓練を企画・実施され、救助技術の維持・向上に努めて頂きたいと思ひます。

● 昨年の青い羽根募金は、所期の募金計画額を確保できましたが、引き続き、救助員の皆さんの活



編 後 集 記



動を支える青い羽根募金に国民の皆さんの理解と協力を得るための努力をお願いします。

● 前号で掲載出来なかった洋上救急功労で名誉総裁表彰を授与されました日本医科大学附属病院の山本先生の投稿感想文を掲載しました。

現場にも直接出動されました先生の思い出話も書かれていますので、一読をお願いします。

同大病院におかれましては、今後とも、洋上救急事業へのご協力をよろしくお願ひしたいと思います。ご投稿ありがとうございました。

● 当会の理事である日本海事新聞大山社長が本を出版されました。

「針路を海にとれ」と題して、海から多くの恩恵を受けている我が国の針路（進路）について、様々な問題などに触れられながら、記述されています。

海を活動の場とする全国の皆さんも是非ご一読されたらと思いますので、紹介します。

(常務理事 磨)